

紙芝居名	しんせつってなあ〜に？ 参加型紙芝居	
対象学年	小学校1・2年	
対象教科	道徳、総合学習	
紙芝居概要	お母さんとスーパーに買い物に行ったとも子ちゃんは、初めてエレベーターのボタンを押す。お礼を言わないで降りる人に対して、むっとしてしまうが、母親から「それは本当の親切ではないのでは」と言われ、本当の親切とは何かを考えていく。	
学習の目的	親切の心、お互いに尊重し合う心を育む。	
	学習活動	ポイント・備考
導 入 ・ 展 開 35 分	<p>(1) 紙芝居を見ながら、親切とはどのようなことだと思うか、まず考えさせる。</p> <p>◆紙芝居前半部分（5分）を見た後</p> <p>○どうして、とも子の行為が親切ではないのか考えさせる。</p> <p>○親切とはどういうことだと思うか問いかける。</p> <p>◆発表</p> <p>○親切について、自分なりの考えを発表させる。</p>	<p>◆発問例</p> <p>○8場面：なぜ、お母さんはとも子の行為が親切ではないと言ったのだろうか？</p>
	<p>(2) とも子的心情変化から、親切とは何かを考えていく。</p> <p>◆紙芝居の後半部分（2分）を見る</p> <p>◆とも子的心情変化</p> <p>○5場面：とも子は「ありがとう」と言われ、どうしてすがすがしい気持ちになったのだろうか？</p> <p>○8場面：なぜ、とも子は何も言わないでエレベーターを降りていく人に、むっとしたのだろうか？</p> <p>○12場面：とも子が、ひらめいたことは、どのようなことか？</p> <p>○13場面：むっとしていたとも子が、ニコニコ顔に変化したのは、どうしてだろう？</p>	<p>○紙芝居を見て、自分が気づいた親切について考えさせ、発表させる。</p> <p>発展：おかあさん役、とも子ちゃん役になって演じてみる。</p>
	<p>(3) おかあさんの普通のしんせつさんから、本当の親切とは何かを考えていく。</p> <p>○「親切」な行動をする心（相手への思いやり、やさしさ）を考えることにより、親切の本質について学んでいく。</p> <p>○親切は相手の立場に立って行うやさしさのあらわれ。 →相手だけがうれしいのではなく、親切にした自分にも喜び、温かさとなって返ってくることに気づく</p> <p>発展：両者の心のエネルギーとなる（親切の連鎖）</p>	<p>◆発問例</p> <p>○おかあさんが、いつも笑顔で親切さんをしているのはどうしてなのか、考えてみよう。</p> <p>○言葉以外に、「ありがとう」という感謝の気持ちを表わす方法にはどんなものがあるか考える。（笑顔、会釈、手話等）</p> <p>◆親切の連鎖</p> <p>分かりやすい親切な体験談をから、親切にした人、親切にされた人、周りで見ていた人</p> <p>→みながともに温かい気持ちになることを伝える</p>
ま と め 10 分	<p>◆自分達ができる親切について考えていく。</p> <p>○どのような親切をしたことがありますか。</p> <p>○自分がチャレンジしてみたい親切さんを話させる。</p> <p>○親切をしたら、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>○親切の心、お互いに尊重し合う心を育む。</p>	<p>発展：身近にできる親切な出来事（席譲り等）を例にとり、親切をする役とされる役に分かれて、実際に演じてみる。</p>
そ の 他	<p>○親切ができなかった体験談を発表させる。</p> <p>○紙芝居の中で、一番印象的な場面を絵に描いてみる。</p>	